

作成日 令和7年8月28日
議員名 肥後 孝俊

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

（事業内容について）
申請件数の激減 R6年度は前年比約31%減という大幅な落ち込み（42件→29件）
補助額削減の悪影響 県補助に連動した市補助額の引き下げが申請減少の直接的
要因。
制度の硬直性 FIT価格低下や太陽光パネルの廃棄問題など、刻々と変わる環境と
省エネ機器や住宅への支援策への対応が不十分。

（予算規模について）
【R7年度の大幅増額】 344万円から930万円へ約2.7倍の予算増（586万円増）が
既に計画済み。
【補助額の復活】 R5年度水準への補助額回復により、申請件数の回復が期待で
きる。
【新メニューの追加】 エネファーム補助の新設など、対象拡大による需要喚起が
見込まれる。
【若者支援の成功】 若者ファンドの上乗せ補助が好評で、新築住宅取得層への
訴求力が高い。

■改善・提案内容

① 段階的インセンティブ制度 早期申請ボーナス（4-6月申請で補助額10%増） 複数設備同時導入で補助率アップ（2設備で1.2倍、3設備で1.5倍） 地域ごとの導入目標達成で追加補助金配分。
② 新たな支援メニューの追加 集合住宅・アパートオーナー向け特別枠創設。 中小企業向け無利子融資制度との併用。金融機関との連携構築。 高齢者世帯向け設置工事費の分割払い制度。
③ 廃棄・メンテナンス対策 太陽光パネル廃棄費用の積立補助制度。 定期メンテナンス費用の一部補助（5年10年ごと） 地元業者による保守管理ネットワークの構築支援。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	村木 勝也		

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
・高価な蓄電池の導入支援こそが最も求められており市の補助金が少ないのではないかと思います。

(予算規模について)
先ずは、不用額調整の減額補正が無いよう事業内容を再構築してください。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

・地域への再エネ導入として集会所改修費用の上乗せ等を地域政策部と検討をお願いします。例えば「地域づくり振興事業」のメニューに入れるとかです。

・防災対策の面からも、自主防災組織をターゲットとして、「自主防災組織への周知」や「自主防災組織との連携」はどうでしょうか。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月19日
議員名	大谷 学

事業No.	305		
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
カーボンニュートラルを推進する上では必要な事業と考えるため。

(予算規模について) 実績数が目標値を下回っている現状から目標値の設定そのものを下げて事業を推進する必要があると判断するため。

■改善・提案内容

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 9月 19日
議員名 沖田真治

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

電気買取価格の順次引き下げやパネルの廃棄処理問題など、制度を取り巻く情勢に変化が出てきたが、若い世代による新規住宅取得の際には好評な補助事業であることから現行制度で継続。

(予算規模について) 減額補正を行ったうえでの低調な執行率を踏まえた縮小。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年9月19日
議員名 村武 まゆみ

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
制度の周知と情報発信が不足している。金融機関との連携強化が必要である。

(予算規模について) まずは現在の計画を確実に進めることが重要であると考え
る。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

地元業者や地場の工務店への働きかけが不足していると考えられるので、市内の
関連事業者の意識を高め、商品と施工方法、保守点検の可視化など市民へのPRを
強化することが重要である。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	川上 幾雄		

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
事業の周知が足りないように思われるので、周知方法に工夫を求める。加えて、蓄電池設備については、需要を掘り起こすとともに規模の拡大を検討する事が事業の趣旨に沿うものと感じる。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

作成日	令和7年	月	日
議員名	柳楽 真智子		

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
執行率が76.4%であることから、活用しにくい部分があると考えられる。太陽光発電の廃棄処分に対する課題については、解決するための助言も必要。

(予算規模について)
住宅用の補助事業となっているが事業者の取組も重要と考えることから、事業者対象の補助事業（コンサル料への補助）の検討も必要。

■改善・提案内容

県に呼応して補助額を下げたことが活用減につながったことから、活用しやすい魅力ある制度設計が必要である。また、太陽光発電設備が外国製であることや廃棄処分に関する課題については、課題を解決するために必要な情報を示すことも必要と考える。

また、施行事業者等から省エネ導入の提案をして頂くために、事業者との連携を図ることも必要である。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月 19日
議員名	串崎 利行

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

事業内容が、市民や事業者十分に認知されていない。

(予算規模について)

先進的な取組が必要であり、予算の拡充するべき。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

市内の関連事業者の意識を高め、市民のPRが必要。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年9月19日
議員名 小川 稔宏

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 再エネ設備導入の設備投資が可能な家庭や事業所に限られることから公平な市民サービスの観点で疑問が残る。CO2削減効果やゼロカーボン目標の達成率や進捗状況の把握も難しい中、省エネ関連企業への支援の要素が強い。 (予算規模について) 一定の評価や効果があることから、縮小に近い「現状維持」とした。
--

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。 事業実績の報告にとどめず、事業目的から見た費用対効果を示す必要がある。
--

作成日 令和7年 8月28日

議員名 上野 茂

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 各団体と意見交換していく中でカーボンニュートラルを目指す自治体の取組が市民に浸透していないのではないかと有効性がどのくらいあるか、実態の正確な把握を行う必要があるため。 (予算規模について) 地球温暖化対策として再可能エネルギーは重要で執行率100%にすべき。
--

■改善・提案内容

設備設置業者は、市内より県外からが多い。市の補助金分を差し引くなど言われる。今後の廃棄処分などについて不安な方が多い。遠方からの業者による清掃など多額の費用がいる。

作成日

令和7年9月19日

議員名

布施 賢司

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

県補助の1件当りの補助額が下げられ呼応して市の補助額も下げたため件数が大きく落ち込んでいる。

FIT制度での電気買取価格の順次引き下げにより、取巻く情勢が変化している。若者ファンドによる補助額の上乗せは人気があり、新規住宅取得の際の補助金利用は引き続き期待ができる。

(予算規模について)

取巻く情勢が変化していることを見定め、さらに事業費を拡充する。

■改善・提案内容

- 1：県補助の1件当りの補助が下げられたとしても、市は呼応して下げない。
- 2：太陽光発電設備の需要が一時期よりそれほど多くないと感じているが、災害時でも必要になってくる蓄電池の購入補助をもっと拡充すべきである。
- 3：EV（電気）自動車の購入補助を。（災害時移動可能な電源に使える）
- 4：エコ住宅取得の際の補助金の利用は期待できるが、金融機関との定期的な意見交換（コロナ禍で中止）ができていないの应予べきである。
- 5：地元、神楽電力や金融機関、行政が目指す取組を市民に分かりやすく広報ができていない。取組を可視化应予べきである。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月19日

議員名

岡本 正友

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

（事業内容について）一導入実績は評価できるが、執行率が低調であり、利用希望者が補助制度を十分理解していない可能性がある。補助対象や申請手続きが複雑な場合、市民にとって利用しにくさがある。

（予算規模について）一脱炭素・エネルギー政策は長中期的課題であり継続は不可欠。利用促進に向けた改善を前提に、原稿予算規模を維持することが妥当と考える。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

- 1 制度周知の強化
- 2 利用しやすい仕組みづくり
- 3 需要傾向の把握

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月21日
議員名	芦谷 英夫

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

当初予算から大幅に補正減しなお執行率が低く、制度設計を再検討すべき。

(予算規模について) 時代の要請からこの種の事業は維持、拡大すべきであり、予算執行が向上する予算メニューを検討する。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9 月19日
議員名	永見 利久

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
予算執行が100%に達していない現状なので、市民に対して事業内容の周知が必要。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

現行予算を使い切るための対応策が必要である。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 月 日
議員名	佐々木 豊治

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 （区分の説明）	廃止	要改善		○ <u>現行どおり</u>
	（事業を廃止もしくは凍結）	（事業の内容や手法に改善や見直しが必要）		（事業の内容や手法はおおむね現行どおり）
予算規模 の評価 （区分の説明）	廃止	縮小	○ <u>現状維持</u>	拡充
	（予算はゼロ）	（予算は縮小）	（予算は現状維持）	（予算は拡大）

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	田畑 敬二		

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

事業を市民に周知する手法の検討が必要である。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	西田 清久		

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		○現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

事業内容については、県の補助金等を基準にされているので、特段現行どおり現状維持としました。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

作成日	令和7年9月19日
議員名	川神 裕司

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) R4年度にゼロカーボンシティ宣言を行っており、毎年事業は行われているものの再エネ設備導入のための補助金を活用した件数実績は伸びていない。今後も再エネ施策を取り巻く状況は変化するものと考えられるが市としても可能な限り再エネ導入に力を注ぐべきである。この流れが停滞するとゼロカーボンシティ宣言は絵にかいた餅となりかねない。 (予算規模について) 現在の計画を確実に進めることが重要であり、予算規模も現在の積算額で特に問題ないとする。

■改善・提案内容

補助金増額が再生エネルギー設備である太陽光発電、太陽熱利用、蓄電池、木質バイオマス設備の整備推進にはなると考える。しかしながら今までの目標と実績の解離をみていると、まずは目標を確実にクリアする取組が大事。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月22日
議員名	牛尾 昭

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

さらに、事業の告知に励まれない。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

様々な告知形態に取り組まれない。